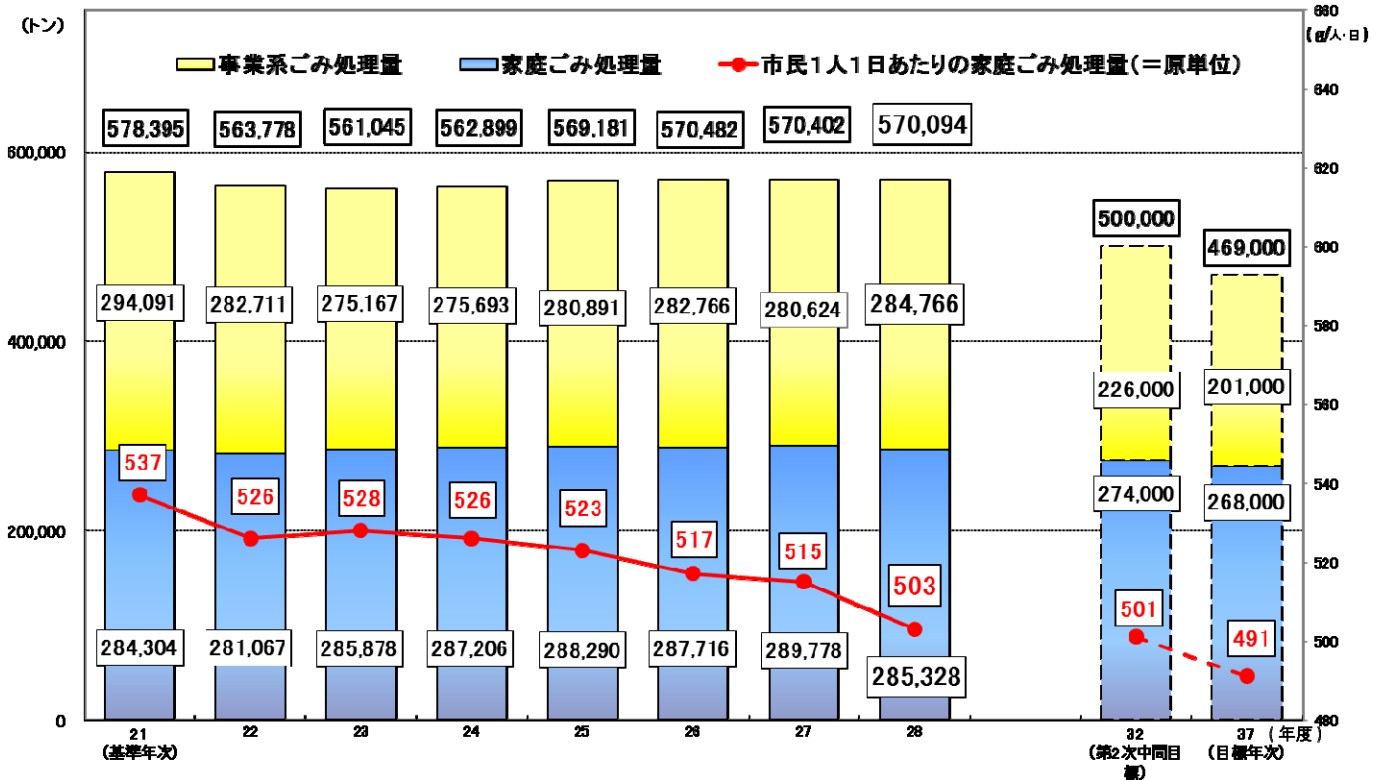


新循環のまち・ふくおか基本計画の進捗状況について（28年度）

1 数値目標、取組指標の状況

数値目標① ごみ処理量



※目標年次の数値は、千トン未満を四捨五入している。

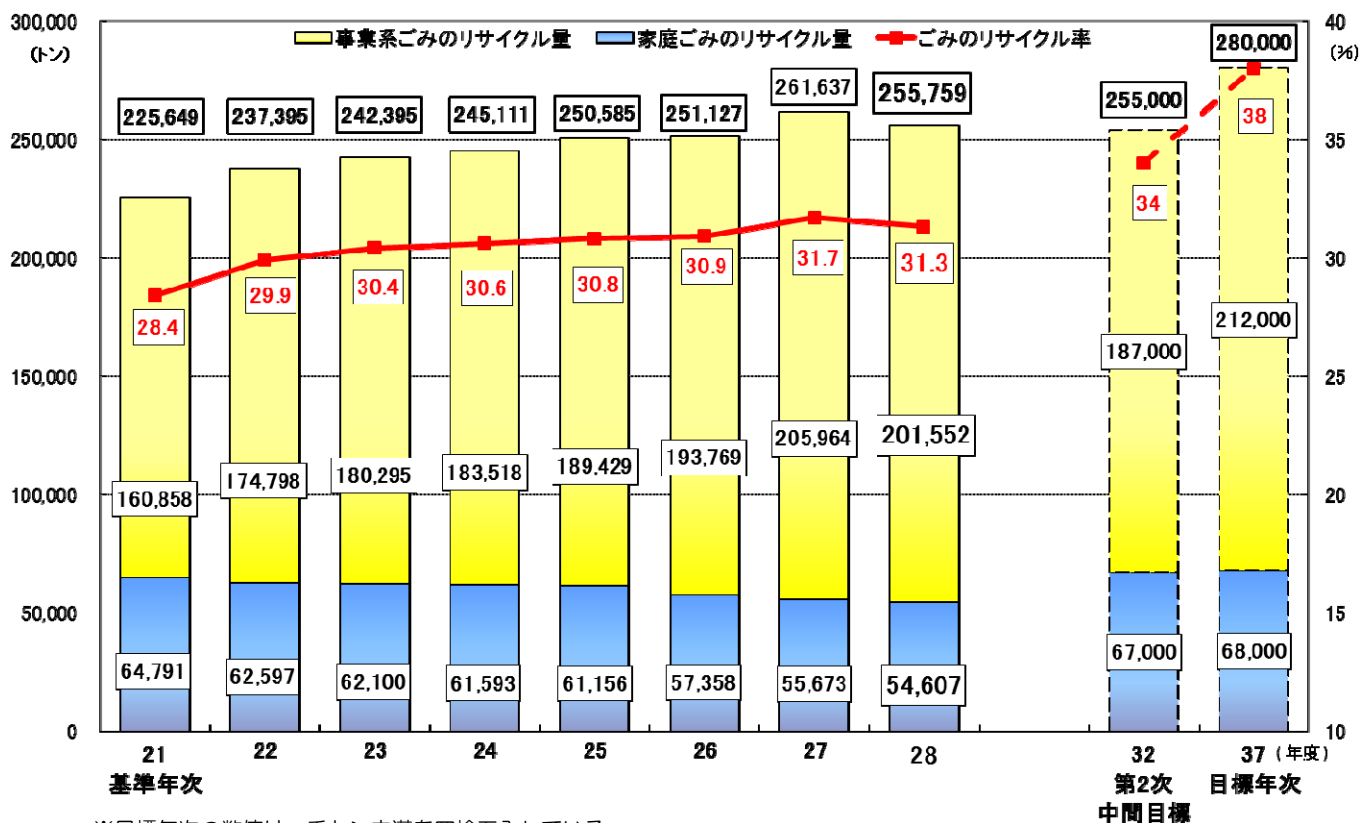
※平成27年国勢調査の結果を踏まえ、平成23年度から平成27年度の人口が遡及修正されたことに伴い、原単位も修正

家庭ごみについては、人口が1%増加する中、市民の3Rへの取り組みなどで、1人1日当たりのごみ処理量（原単位）が減っており、ほぼ横ばいとなっております。

事業系ごみについては、基準年次の平成21年度と比較すると減となっておりますが、近年は経済状況の好転や交流人口の増加によって、横ばいとなっております。

平成28年度のごみ処理量の合計は約57万トンで、基準年次と比較すると約8千トンの減となっておりますが、近年はほぼ横ばいとなっております。

数値目標② ごみのリサイクル率



平成28年度のリサイクル率は、31.3%となっており、基準年次の平成21年度と比較して2.9ポイント増加しております。

また、リサイクル量については、基準年次と比較して約3万トン増加しております。

家庭ごみのリサイクル量は、その大半を占める地域集団回収等における古紙回収量が、新聞発行部数等の減少に伴い下がっており、減少傾向にあります。

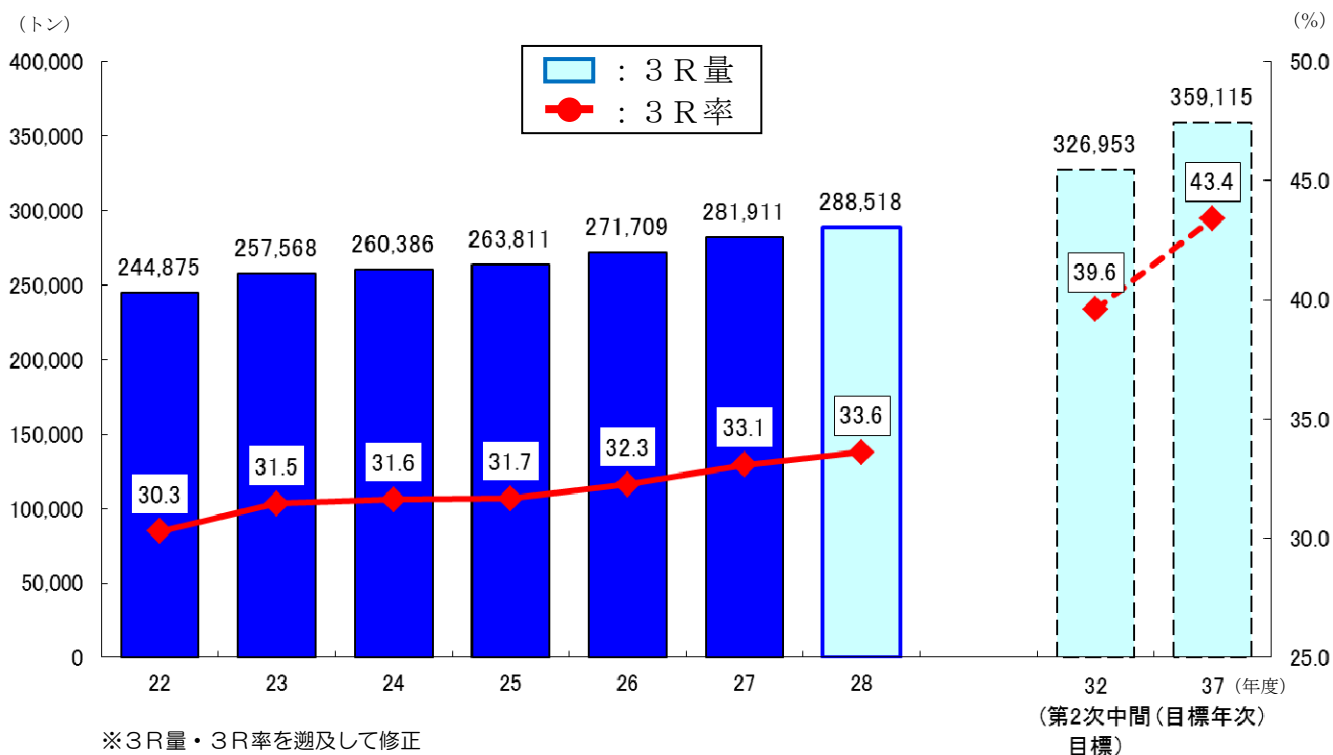
事業系ごみは、特定事業用建築物（延床面積1,000㎡超）における所有者等への減量指導により、古紙や食品廃棄物のリサイクル量が増加しております。

取組指標① 3R率 (ごみの発生量に対する3Rが実践された比率)

【目的】

リサイクルだけでなく、リデュース・リユースの取組みを推進するため、3R率を把握する。

【実績】



平成28年度の3R率は33.6%であり、平成22年度と比較して3.3ポイント増加、3R量は約4万4千トン増加しております。

下に示しているとおり、市民が発生抑制、再使用に取り組んだことにより、2R量が増加しております。

<3R率の算定方法>

3R率 : 33.6% (H27n: 33.1%)

= 3R量 288,518 トン ÷ (平成28年度のごみ処理量 570,094 トン + 3R量 288,518 トン)

3R量 : 288,518 トン (H27n: 281,911 トン)

= 2R量 31,759 トン + 平成28年度のリサイクル量 256,759 トン

2R量 : 31,759 トン (H27n: 20,274 トン)

= 原単位の減少量 56g × 年間日数 365 日 × 平成28年度の推計人口 1,553,778 人

原単位(市民1人1日あたりごみ発生量)の減少量 : 56g/日・人 (H27n: 36g/日・人)

= 平成21年度の前単位 1,500g/日・人 - 平成28年度の前単位 1,444g/日・人

取組指標② 3Rの実践度（市民の3Rの行動の広がりを示す指標）

【目的】

3Rの実践が市民に広まっているかどうかを把握する。

【実績】

○ ごみ減量・リサイクルへの関心度

	21年度 (基準年次)	27年度	28年度	基準年比
関心度	90.9%	91.4%	93.3%	+2.4ポイント

○ 3Rの認知度

			21年度 (基準年次)	27年度	28年度	基準年比
3R	2R	リデュース	38.2%	58.7%	62.8%	+24.6ポイント
		リユース	49.8%	64.2%	65.7%	+15.9ポイント
	リサイクル		89.1%	94.5%	92.2%	+3.1ポイント

○ 3Rの実践状況

実践項目		実践率			
		21年度 (基準年次)	27年度	28年度	基準年比
リデュース	レジ袋辞退	63.3%	76.5%	75.3%	+12.0ポイント
	詰替商品の購入	58.8%	81.3%	82.5%	+23.7ポイント
	生ごみの削減	53.1%	56.3%	59.7%	+6.6ポイント
	計画的な購入	46.1%	46.8%	37.9%	-8.2ポイント
リユース	フリーマーケット等の活用	24.3%	34.3%	35.3%	+1.0ポイント (前年比)
	知り合いへの譲渡	33.5%			
リサイクル	集団回収の利用度	65.6%	—	68.0%	+2.4ポイント
	古紙回収ボックスの利用度	34.9%	—	30.3%	-4.6ポイント

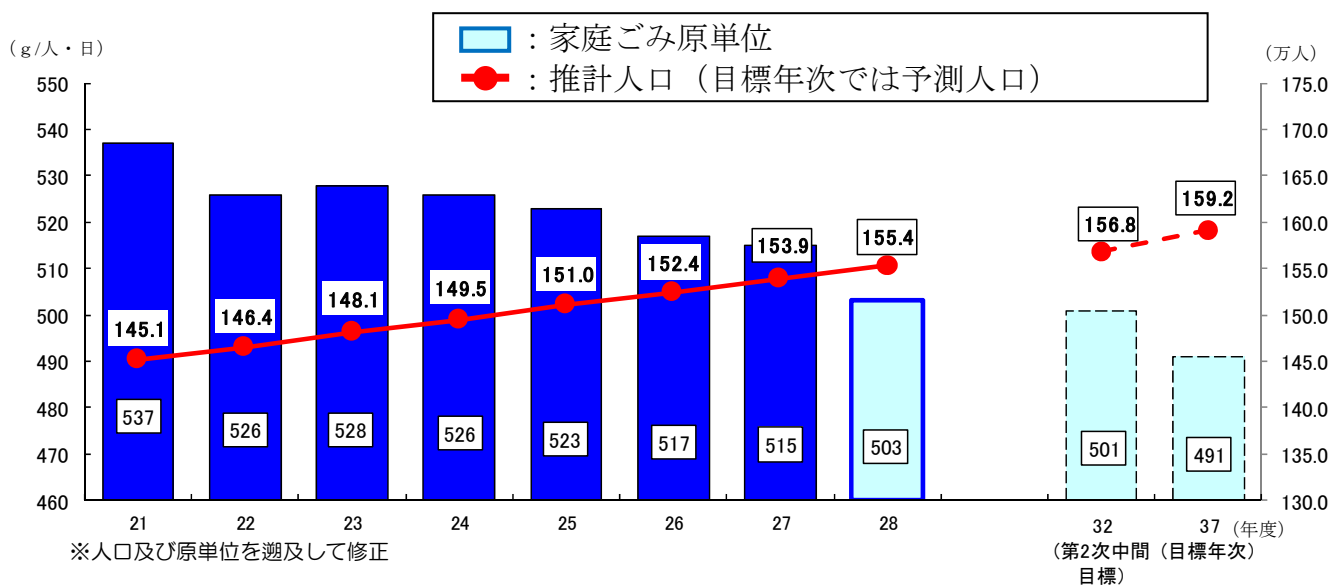
※平成21年度は福岡市ごみ減量・リサイクルに関する意識調査結果 調査数 5000 有効回答率 57.0%

※平成27, 28年度は市政アンケート結果

平成27年度 調査数 630 有効回答率 86.0%

平成28年度 調査数 607 有効回答率 86.5%

○ 市民1人1日あたりの家庭ごみ処理量（＝原単位）



ごみ減量・リサイクルへの関心度や3Rの認知度に加え、3Rの実践状況も向上していることから、市民1人1日あたりの家庭ごみ処理量が減少していると考えます。

ただし、2Rの認知度がリサイクルの認知度と比べて低いため、認知度向上に向けた取り組みが必要です。

また、リサイクルについては、認知度と比べ実践率が低いので、地域集団回収や古紙回収ボックスの利用などを、さらに啓発していく必要があります。

取組指標③ 有害廃棄物等適正処理の実践状況（有害廃棄物等に対する認識や取組みを示す指標）

【目的】

環境負荷の低減のために、市民が蛍光灯や水銀体温計などの適正処理に取り組んだ状況を把握する。

【実績】

区役所等の回収拠点での回収量

	21年度 (基準年次)	27年度	28年度	基準年比
蛍光灯・乾電池の量(トン)	1	10	23	+22
水銀体温計等(トン)	—	—	0.2	—

蛍光灯及び乾電池の回収は、平成27年度から家電量販店13か所でも回収を開始し、28年度には6か所増設したことに伴い、回収量が大幅に増加しました。29年度は、ホームセンター等30か所に回収拠点を増設する予定（8月28日時点 15か所増設）で、さらなる回収の強化に努めています。

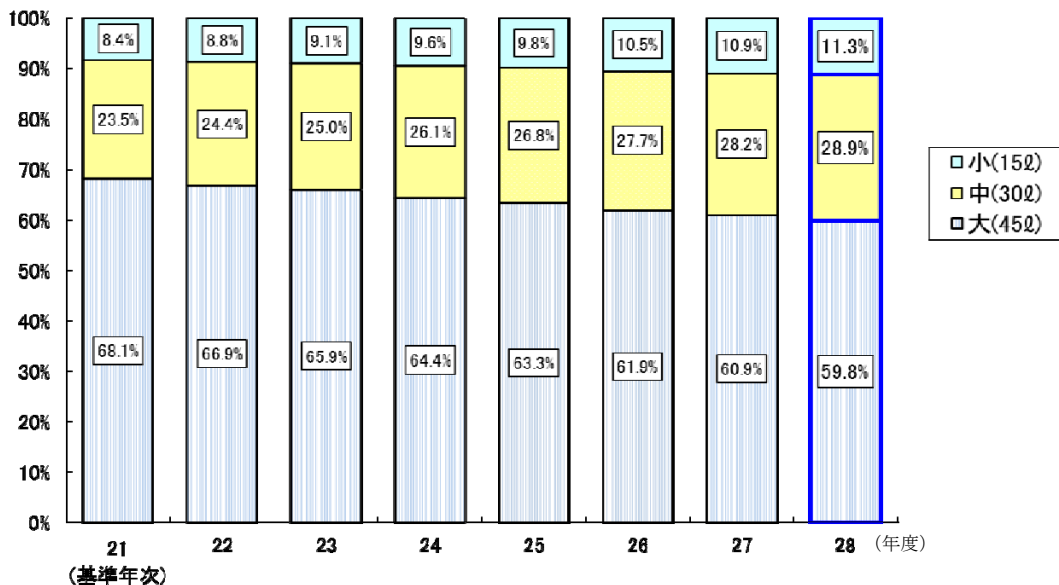
水銀体温計などの水銀添加廃棄物の回収は、平成28年度に環境省のモデル事業として福岡市薬剤師会の会員薬局約700か所に回収ボックスを設置し、計2,154本、163kgを回収しました。平成29年度は区役所・市民センターなどを加えて本格実施しております。

取組指標④ 家庭ごみの容積

【目的】

家庭ごみの減容化の進捗状況を確認するため、家庭用可燃ごみ袋の販売数を把握する。

【実績】



家庭用可燃ごみ袋の販売実績によると、大袋の割合が毎年度確実に減少しており、平成21年度の構成比と比較すると、大袋が8.3ポイントの減少、中袋は5.4ポイントの増加、小袋は2.9ポイント増加となっております。

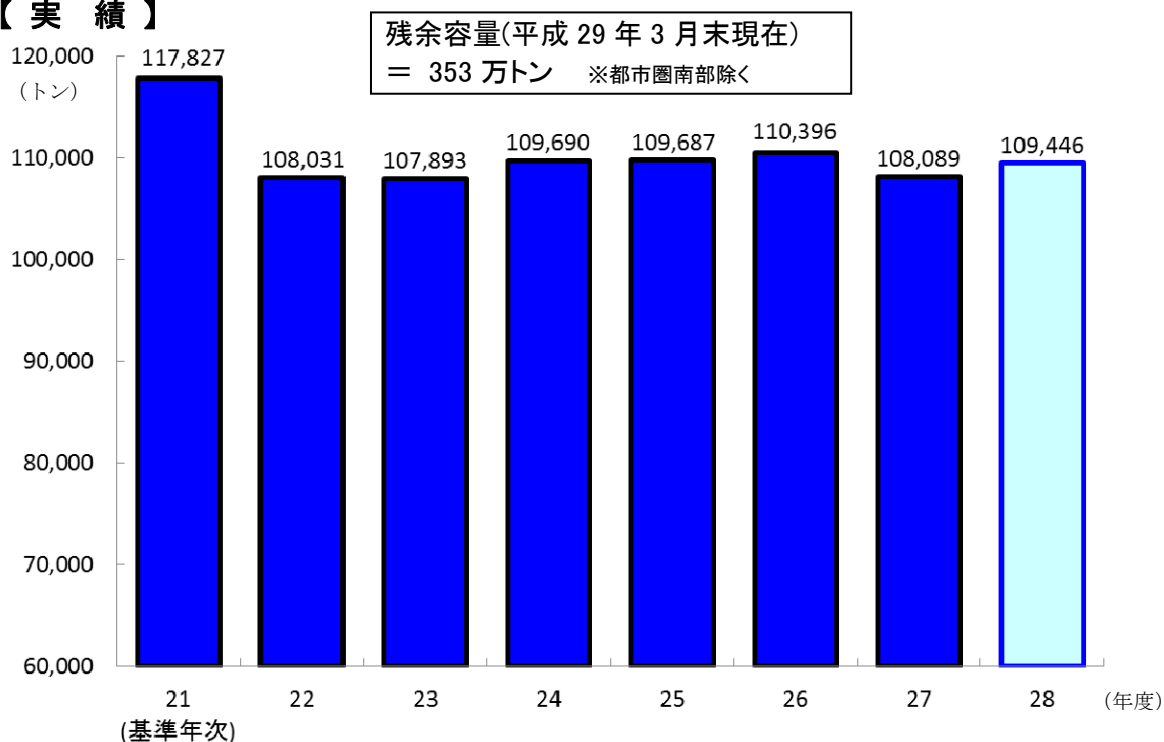
単身世帯の増加による影響だけではなく、市民一人当たりのごみ排出量が減っていることから、より小さなごみ袋を使用する世帯が増えていると考えます。

取組指標⑤ 埋立処分量

【目的】

埋立場の延命化のために、埋立処分量の削減が進んでいるか把握する。

【実績】



埋立処分量は、ごみ処理量と同様にほぼ横ばいで推移しております。

取組指標⑥ 温室効果ガス排出量

【目的】

「低炭素社会づくり」への配慮として、廃棄物発電による温室効果ガス (CO₂) の削減の取組み状況について把握する。

【実績】

廃棄物発電による CO₂ 削減量

(単位 上段：トン
下段：MWh)

	21 年度 (基準年次)	23 年度	24 年度	25 年度	26 年度	27 年度	28 年度
CO ₂ 削減量	89,676	94,342	130,453	152,921	152,441	131,796	129,677
発電電力量	239,775	245,045	248,481	249,871	248,680	249,612	268,481

- ・発電電力量は4工場で発電した電力量のうち、福岡市内で発生したごみの割合に相当する電力量である。
- ・CO₂削減量は各年度に環境省から発表される九州電力㈱のCO₂排出係数を発電電力量に乗じて算出するため、発電電力量と比例しない。(28年度は暫定値)

平成 28 年度の廃棄物発電による CO₂ 削減量は、基準年次の平成 21 年度と比較して約 4 万トン増加しています。発電電力量も基準年次と比較して、平成 28 年度は約 2 万 9 千 MWh 増加しており、安定的な発電を維持しています。

2 平成 28 年度の事業実績

(1) 家庭ごみの 3 R 施策

① リサイクルに関する事業

(単位：トン)

品 目	基準年次	前年度	実績	目標値		
	H21	H27	H28	H27 第1次	H32 第2次	H37 最終
古紙, 空き缶, リターナブルびん, 布類等						
1 地域集団回収等						
古紙等の資源物のリサイクルを推進するため、地域集団回収等実施団体に報奨制度による支援を行うとともに、市民の身近で利用しやすい場所に資源物回収拠点を設置する。(H28 実績は、地域集団回収、紙リサイクルボックス、校区紙リサイクルステーション、区役所等公共施設での拠点回収、新聞社の新聞古紙回収などによる回収量)	48,184	38,686	37,171	49,896	50,781	51,550
空きびん, ペットボトル						
2 民間協力店						
民間協力店 73 か所に資源物回収拠点を設置し、空きびん・ペットボトルの回収を行う。	1,982	2,183	2,167	2,049	2,061	2,064
3 戸別回収						
家庭から収集された空きびん・ペットボトルを、びん・ペットボトル中継保管施設又は選別処理施設に搬入・選別後、再商品化事業者に引き渡す。	7,075	8,318	8,521	7,320	7,363	7,373
アルミ缶, 食品トレイ等						
4 スーパーマーケット等による店頭回収						
スーパーマーケット等の店頭において、アルミ缶や食品トレイなど資源物の自主回収が行われている。	991	1,471	977	991	991	991
鉄, アルミ						
5 燃えないごみからの鉄・アルミの回収						
資源化センターに搬入された不燃性ごみを破碎し、磁選機等により鉄、アルミを回収、再資源化する。(家庭系/事業系は搬入量を基に案分)	5,443	4,428	5,023	4,998	4,891	4,762
廃食用油						
6 廃食用油の回収						
家庭から出る廃食用油を回収し、再資源化する。	—	1	2	5	50	100

品 目	基準年次	前年度	実績	目標値		
				H27 第1次	H32 第2次	H37 最終
項 目	H21	H27	H28			
事業内容						
蛍光灯・乾電池						
7 蛍光灯・乾電池の回収						
家庭から排出される蛍光灯・乾電池の拠点回収を行い、再資源化する。(H28実績のうち3トンは項目1と重複)	1.0	10	23	10	150	300
携帯電話, デジタルカメラ等						
8 使用済小型電子機器回収						
携帯電話などの使用済小型電子機器の回収を行ない, レアメタルなどの貴重な資源のリサイクルを行う。	—	45	46	—	—	—
古着						
9 古着の回収						
使えなくなった古着の回収を行い, リサイクルを行う。	—	—	9	—	—	—

②啓発等に関する事業

項 目	事業内容	実績(H28)
10 3R推進啓発事業		
	マイバッグ持参によるレジ袋削減や食品ロス削減の取組みなど, 3Rの内容を市民に周知し, 日常生活の具体的な行動に結びつけていくための広報啓発を行う。	3R推進モニター: 253 名 食品ロス削減講座の実施(博多区) 参加人数: 27 名
11 出前講座		
	地域団体や日本語学校, 及び小学5, 6年生の家庭科の授業において, ごみの分別体験等を通じて3Rについての理解を深める出前講座を実施する。	実施回数: 109 回 受講者数: 4,612 名
12 ごみ減量広報・啓発活動		
	転入者向けに家庭ごみルールブック等を作成・配布するなど広報活動を行う。	家庭ごみルールブック: 80,000 部 家庭ごみガイド: 63, 000 部
13 3Rステーション事業		
	3Rステーション(西部, 臨海)において, 市民へのごみ減量・3Rに関する情報提供, 体験・活動の場の提供, 各種講座やイベントの開催を行うとともに, 不用品の受入・提供等を実施する。	入館者総数: 105,103 名 講座等開催回数: 1,555 回 不用品提供数: 311,990 点

項 目	事業内容	実績(H28)
14	生ごみリサイクル促進事業	
	クリーンパーク・東部等において、生ごみのリサイクルを推進するために、生ごみ堆肥の作り方や堆肥の使い方を学ぶ市民講座を行う。	菜園講座 実施回数:26回 参加人数:403名 段ボールコンポスト学習会 実施回数:7回 参加人数:104名
15	環境学習支援事業	
	小中学校等の環境学習において分別指導などを行う。	環境学習支援実施回数:197回 参加人数:14,800名
16	空き缶等散乱防止及び再資源化促進事業	
	環境と調和した地域社会の構築を目的に、空き缶等散乱防止、再資源化のための回収促進に、福岡都市圏内17市町が一体となり取り組む。	Jリーグ公式戦におけるポイ捨て防止PR看板掲出:22ゲーム
17	都市美化運動の推進	
	市民団体、事業者、行政により福岡市空き缶・びん対策協会を組織し、空き缶・びんの適正処理について啓発活動等を行う。	小・中学生ポスターコンクール応募作品:632点
18	不法投棄防止対策	
	監視パトロールやカメラによる監視等を実施するとともに、ポスター等による市民への啓発や警察等関係機関と連携。	不法投棄処理量:32トン 処理件数:590件
19	エコ発する事業	
	NPO法人や市民団体が自ら発意・企画し、自主的に取り組んでいる様々な環境活動について、財政面及び広報面に関する支援を行う。	補助件数:12件(局7件,区5件)
20	環境市民ファンド	
	環境市民ファンド(基金)を活用し、NPO法人や自治会等、市民が主体的に行う環境保全活動を支援する。 下記4分野における事業についてファンドを活用 ①3R ②温室効果ガスの排出削減 ③自然環境の保護(地域清掃を含む) ④複合的な活動(①~③を含む)	地域集団回収等報奨制度、拠点での資源物回収事業、ラブアース・クリーンアップ事業、生物多様性ふくおか戦略の推進など、全21事業に活用。
21	福岡市環境行動賞	
	環境保全・創造に高い水準で貢献し、顕著な功労・功績のあった個人・団体・学校・事業者を表彰し、それらを広く市民に周知する。	表彰件数:95件 (個人:3,団体:3,学校:4,事業者:3,奨励賞:82) ※表彰式は隔年開催。

項 目	
事業内容	実績(H28)
22 環境フェスティバルふくおか	
環境に優しい行動の輪を広げていくための普及・啓発を目的とした、楽しみながら学べる参加体験型イベントの実施。	H28.10.22(土)・23 日(日)福岡市役所西側ふれあい広場にて開催。 来場者数 36,000 名, 出展団体 44 団体
23 循環のまち・ふくおか推進会議	
市民, 事業者, 行政で組織し, 循環型社会に向けた具体的な行動を協議し, 全市的な実践活動の展開を図る。	・循環のまち・ふくおか推進会議(H29.1.16) テーマ:3R をさらに進めるために～食品ロス削減への取組み～ 参加委員 33 名 事例発表:家庭からの食品ロス削減 発表者:ベスタ 事例発表:イオンの食品ロス削減の取組み 発表者:イオン九州株式会社

(2) 事業系ごみの3R施策

①リサイクルに関する事業

(単位:トン)

品目	基準年次	前年度	実績	目標値		
				H27 第1次	H32 第2次	H37 最終
事業内容	H21	H27	H28	H27 第1次	H32 第2次	H37 最終
古紙						
24 事業所ごみ減量事業(古紙)						
特定事業用建築物(延床面積 1,000 m ² 超)の所有者等に、「廃棄物減量等推進責任者の選任」及び「廃棄物の減量等に関する計画書」の提出を義務づけ、計画に従ったごみ減量の推進について、立入等により指導を行う。	71,100	77,400	77,900	78,600	80,900	83,300
小規模事業者及び機密書類の資源化推進						
25 事業系古紙回収推進事業	62,552	94,186	92,400	68,024	74,674	81,324
中小事業者等を対象とし、ごみ許可業者や古紙業者等の協力のもとに構築した古紙回収システムにより、効率的・効果的な古紙回収を推進する。						
26 事業系古紙地域回収支援モデル事業						
複数の事業者が共同で古紙を回収するシステムを構築した場合に、費用の一部を補助する。						
27 市の施策以外の古紙の資源化量						
小規模事業者が独自に古紙回収を実施する。						
28 市庁舎内古紙回収						
市庁舎における古紙回収を実施する。	1,626	1,585	1,523	1,626	1,626	1,626
29 工場での古紙回収						
清掃工場に搬入された段ボール等古紙類を回収、再資源化する。	352	193	176	352	352	352

品 目	基準年次	前年度	実績	目標値		
				H27 第1次	H32 第2次	H37 最終
項 目	H21	H27	H28			
事業内容						
食品廃棄物						
30 事業所ごみ減量事業(食品廃棄物)	1,320	6,470	6,937	5,100	11,600	18,000
特定事業用建築物(延床面積 1,000 m ² 超)の所有者等に、「廃棄物減量等推進責任者の選任」及び「廃棄物の減量等に関する計画書」の提出を義務づけ、計画に従ったごみ減量の推進について、立入等により指導を行う。						
31 事業系食品廃棄物リサイクル推進事業						
事業者のリサイクルルート構築を支援するため、今後のモデルとなるような事業の実験を実施する。						
小規模事業者の資源化推進						
32 事業系食品リサイクル支援モデル事業						
複数の事業者が共同で生ごみ処理機などを導入し、新たなリサイクルシステムを構築した場合に、費用の一部を補助する。						
33 市の施策以外の食品廃棄物の資源化量						
小規模事業者が独自に食品廃棄物を資源化する。						
紙おむつ						
34 紙おむつの資源化						
介護・福祉施設や医療機関などから排出される使用済み紙おむつを資源化する。	—	—	—	0	0	9,000
その他						
35 事業系ごみ減量事業(缶・空きビン等)	15,952	19,900	18,000	11,700	12,100	12,400
特定事業用建築物(延床面積 1,000 m ² 超)の所有者等に、「廃棄物減量等推進責任者の選任」及び「廃棄物の減量等に関する計画書」の提出を義務づけ、計画に従ったごみ減量の推進について、立入等により指導を行う。						
36 市直営資源回収(空きびん・ペットボトル)						
市庁舎における空きびん・ペットボトルを回収する。	53	31	34	40	40	40

品 目	基準年次	前年度	実績	目標値		
				H27 第1次	H32 第2次	H37 最終
37 公共施設資源回収(蛍光灯)						
市庁舎における蛍光灯の回収を実施する。	H21	H27	H28	10	10	10
38 緑のリサイクル						
街路樹等の剪定樹木をチップ化し土壌改良材として公共施設緑化事業に再利用する。	4,496	4,043	2,358	3,457	3,448	3,448
39 燃えないごみからの鉄・アルミの回収						
資源化センターに搬入された不燃性ごみを破碎し、磁選機等により鉄、アルミを回収、再資源化する。(家庭系/事業系は搬入量を基に案分)	3,136	2,747	2,815	2,631	2,524	2,425

②啓発等に関する事業

項 目	事業内容	実績(H28)
40 資源物回収協定制度	資源物回収事業者との連携を強化するため、優良な資源物回収事業者と資源物回収協定を締結し、事業者を紹介する。	協定締結事業者数:21 事業者
41 事業系ごみ資源化情報発信事業	事業系ごみのリサイクルに関するホームページを構築し、資源化に関する情報提供や回収業者とのマッチングを行う。	マッチング申込件数:80 件
42 エコアクション 21 取得推進事業	市内事業者の環境保全に関する自主的な取組みを促進するため、環境省が推進している中小事業者向け簡易版環境マネジメントシステムである「エコアクション21」の普及を図り、事業者による環境配慮の取組みを支援している。	エコアクション21導入セミナー実施 21 事業者 自治体イニシアティブ・プログラム参加 6 事業者
43 グリーン購入ガイドライン	再生品など環境に配慮された製品の普及を図るために、福岡市グリーン購入ガイドラインを策定し、環境に配慮された製品を全庁的に率先購入している。	「福岡市グリーン購入ガイドライン」改定 庁内における適合状況の調査実施 平成28年度達成品目:130品目/177品目
44 事業系ごみ資源化推進ファンド	事業系ごみの資源化に向けた事業者の取組みを支援することにより、循環資源の更なる利用を促進し、循環型社会の形成を進めるための事業を実施する。	事業系ごみ資源回収推進事業、事業系ごみ資源化調査事業など、累計7事業に活用。

項 目		
	事業内容	実績(H28)
45	福岡市環境行動賞	再掲
46	環境フェスティバルふくおか	再掲
47	循環のまち・ふくおか推進会議	再掲
48	事業系ごみ資源化技術実証研究等支援事業	
	事業系ごみの資源化を推進するため、古紙、食品廃棄物、使用済み紙おむつ等の事業系一般廃棄物の資源化に関する技術等を研究しようとする事業者に対し、実証研究等に係る費用の一部を補助することにより、その取組みを支援するもの。	補助件数:0件 (累計:10件)
49	事業系一般廃棄物資源化施設の整備支援	
	本市の事業系一般廃棄物の資源化推進に寄与する施設及び設備を市内で整備するために要する費用について、その一部を補助することにより、本市の一般廃棄物の資源化施設の基盤整備を図り、もって循環型社会の形成を図るもの。	補助件数:0件 (累計:1件)